

過敏症を発症された方にアンケートご協力をお願い

厚生労働省の研究事業として、獨協医科大学公衆衛生学講座が中心となって、中枢神経感作症候群の疫学調査を実施します。その一環として尚絅大学院大学名誉教授の北條祥子先生が、電磁波過敏症、化学物質過敏症、シックハウス症候群を発症された方を対象にアンケート調査を実施することになりました。

なぜ痛みや過敏反応が出るのかを明らかにし、有効な予防や治療につなげることが目的です。アンケート結果は全て個人を特定しないデータ処理をしますので、個人情報が出ることはありません。

今回の会報を発送する際に、電磁波過敏症または化学物質過敏症を発症していると思われる会員の方には、アンケート用紙を同封しておりますので、ぜひご協力ください。アンケート締め切りは11月30日です。よろしくお願ひします。

よくある質問

1) 子どもでもアンケート調査に参加できますか？

過敏症に関する調査は、お子さんでも参加できます。お子さんがご自身で記入できない場合は、保護者の方がご記入ください。

2) 化学物質過敏症を発症していて、電磁波過敏症は発症していません。アンケートに参加できるでしょうか？

アンケートには電磁波過敏症に関する質問と化学物質過敏症に関する質問が含まれています。北條祥子先生に確認したところ「化学物質過敏症と電磁波過敏症発症者に違いがあるのかも調査したいので、化学物質過敏症のみを発症されている方にも、ご協力をお願いします」ということでした。

3) 申し込みは、どこにすれば良いですか？

いのち環境ネットワークにご連絡いただければ、アンケート用紙を発送します。返信用封筒を同封しているので、アンケートに記入後、ポストに投函してください。ご家族やご友人の分など、追加が必要な場合も、郵便番号、住所、氏名、必要な部数をお知らせいただければすぐに発送します。